

# news.



ウィンドウズ95が11月23日ついに国内発表(221ページ)。海外のイベントではインターネットニュービジネスの勢いを見た。

## インターネットワールド'95 Fall 開催

10月30日から11月1日までの3日間、米・ボストンのワールドトレードセンターにおいて、インターネットワールド'95 Fallが開催された。インターネットワールドはインターネット関連では最大規模の展示会である。インターネットに関連する企業の動向をうかがうために日本人を含む多数の入場者があった。

### インターネットビジネスの急成長を感じさせるサービス企業の出展

レポート・大橋禪太郎 Nictrix/3C-Research (zen@three-c.com)

会場に入ると武者震いを感じた。春の同展示会とはまったく様子が違うのだ。会場の熱気と入場者の数で一瞬立ち止まってしまった。急成長するインターネットという怪物に飲み込まれてしまう錯覚を感じた。全体的にいえるのは、ソフトとサービスを提供する会社の出展が多くなっていったことだ。ハードウェア会社はノーザンテレコムなどの大企業がつきあい程度にブースを出していたが、それらはやはり素通りされている。IBMもハードよりも同社の提供するネットワークプロバイダーサービスに説明の重点をおいていた。例外的にはLivingstone社(www.livingston.com)のように、プロバイダーからの人気が高い製品群を出している会社はブースの面積も展示会ごとに広がっている。それと相対するかのようには、新興のソフト会社やサービス会社は20代前半の説明員(本業は開発エンジニアである場合が多い)がボロシャツのユニフォ

ームで熱っぽく自社の製品をアピールしているのが印象的だ。

#### 複雑化・巨大化する インターネット上のビジネス

インターネット上でのビジネスはかなり複雑になりはじめている。一昔前のように、数人でいいソフトやサービスを提供するだけではビジネスとしてなりたたなくなっている。一見どうやって収入を見込んでいるのかわからないブースも多く見られた。Security First Network Bank(www.sfnb.com)はインターネット上での米国で最初の銀行である。同行ではインターネット上で口座を開設したり、送金や振り替えの手続きができる。残念ながら現在のところ日本から口座を開設することは許認可の問題でできないが、96年の夏をメドに海外からの口座開設も受けつけるという。さて、この銀行

はインターネット上で銀行業務を開始したわけだが、「競合他行がこの市場に参入するのは時間の問題ではないのか?」との問いには、「そのとおり、僕たちは銀行業務でお金を儲けようとしているのではなく、他行が後にインターネットバンキングに進出するさいに僕たちが構築したソフトウェアとセキュリティそれにコンサルティング業務をそれらの銀行に販売することをビジネスにする」との答えに納得。

サーチエンジン各社は現在、サーチエンジンのサイトに広告を載せることにより運営している場合が多い。OPEN TEXT(www.opentext.com)はサーチエンジンサイトを提供している。同社は8台のDEC Alphaマシンをサーチエンジンサイトのために使用している(なんと1台につきメモリは1Gバイトと8台のメモリだけで3千万円以上)。「広告収入だけで食っていけるか?」の問いには「サーチエンジンソフトの販売



を主体としている」とのこと。「サーチエンジンを作る人（企業）なんてそんなにいないから、本数がそんなに出ないのでは？」と再び質問すると、「企業内でのサーチ需要は、潜在的な巨大マーケットなんだ。たとえば、去年自分で作った出張報告書がワープロのどのファイルだったか探すだけで一苦労だ。これを企業内のファイルはワープロ、スプレッドシート、データベースを問わず、すべて社内からしか見えないサーチエンジンに登録しておけば（登録は自動的に行われる）社内には存在する眠っている情報を活用できるようになる。とくに研究機関なんかでは需要が高い」とのこと。これまた納得。また、社員数も最低20人規模の会社が多くなっており、外からの資金が入っていない数人で運営している会社は、ブースの作りを見ても「ジリ貧」といった印象を受けてしまう。

アメリカオンラインでは昨年から行われているGREEN HOUSE プロジェクトのブースを出展。これはネット上で実現可能と思われるビジネスアイデアを募集し、いけると思われたアイデアに6桁（数千万円）の投資をし、そのスタートを助けるというもの。すでに6つのアイデアが投資を受け、事業を準備または開始している。こういったプログラムから投資を受けられるチャンスはアメリカではかなりある。

### 「ヒット数」は無意味？ アクセスデータ分析技術

サイトの人気の指標としては、そのサイトにどれだけの「ヒット」があったかが一般的には使われている。ここで、その100万ヒットって結局何人？といった問題が出てくる。これからは、I/PRO社（www.ipro.com）やNetCount社（www.netcount.com）のように、実際に何人がアクセスしたかをモニターすることが主流になるかもしれない。これらのソフトウェアはIPアドレスの数を単純に数えるだけではなく、プロキシサーバーのIPアドレスからのカウントは統計的に何人のアクセスに相当するかなどの計算も行っている。「宣伝媒体としてウェブスペースを販売するためには不可欠なツールですね」との筆者のコメントに「たしかにそれは一つの使い方です。メインターゲットはあくまでもいいサイトを作りたくて願っているウェブマスターたち。我々のソフトウェアは単純なカウントだけでなく、あるページからあるページへどう人々がブラウズしていくかなどの情報も提供しており、それらの情報をもとに、人々が見たい情報と自社が発信したい情報をミックスさせることができるのです」とのことであった。なお、これらのアクセス情報収

集ツールはアクセス元のドメイン名を会社名に自動変換し、企業データベースとリンクすることにより、アクセス元の業種や従業員数などの統計も取れる。現在のところ、他社のウェブに広告を掲載した場合、どれだけの人がその広告を見にきたのかは、ウェブの持ち主の言う言葉を信じるしかない。Web Track Magazine社（www.webtrack.com）はヒット数監査のサービスを来春より開始すると発表。この監査サービスは雑誌などの発行部数の監査で有名なABC（Audit Bureau of Circulations）と提携して行われる予定である。

### サーバー製品も転換期 変化するビジネスチャンス

一昔前までは、自社にUNIXサーバーを導入する会社は、ある程度の規模がある会社で、経験豊富なUNIXのシステム管理者がいる場合が多かったが、専用線の導入が増えるのに伴い、素人rootが多数登場し、サーバーの設定に苦しんでいる。System Management ARTS社（www.smarts.com）ではグラフィックユーザーインターフェースを採用したシステム管理ツールを展示。簡単な設定をアピールするためにSun Microsystems（www.sun.com）では、Netraのみを展示するといった具合である。Clarinet Communications社（www.clarinet.com）ではニュースグループをカテゴリ別に再ソートするソフトウェアを展示。同社ではプロバイダーなどが付加価値をつけるための道具としてソフトウェアを販売している。このほかそれこそ数え切れない会社が、変化しつづけるインターネットのビジネスチャンスをもものにしようと製品をアピールしていた。来年は米国内外を含めて合計10回のインターネットワールドが開催される予定だ。それらの展示スペースもほとんど売約済み。春にサンノゼで感じた確実な成長の予感は今現実のものとなりつつある。

## 「キッズスペース」も受賞 マルチメディアグランプリ'95

(財)マルチメディアソフト振興協会(略称MMA)が通産省の共催のもとに開催している「マルチメディアグランプリ」その95年の受賞者が決定した。95年7月から9月上旬にかけて作品を募集、「インタラクティブ分野」「ノンインタラクティブ分野」の両部門に合計451作品が寄せられた。

インタラクティブ部門の最高賞である通産大臣賞には榊ワープが制作した32ビットビデオゲーム機対応の「Dの食卓」が輝いた。「ノンインタラクティブ分野」の最高賞にあたるMMA会長作品賞には、米ナショナルセンター・フォー・アトマスフィア・イン・リサーチ社の「The Visible Human Project」が、また、製作者に与えられるMMA会長賞は、フューチャーパイレーツ榊の高城剛氏が受賞した。

応募作品のほとんどがインターネット上のホームページだったネットワーク部門の最優秀賞は、大庭さち子氏が主催する「キッズスペース」に決定した。これは子供たちの作品を掲載し、子供どうしの国際交流の場を提供している([http://plaza.interport.net/kids\\_space/](http://plaza.interport.net/kids_space/))。そのほか阪神大震災でいち早く情報発信を行った神戸市もパブリック賞を受賞した。ネットワーク部門の各賞受賞者は次のとおり。

アート賞「連歌 - Renga -」  
安斎利洋氏、中村理恵子氏

URL <http://renga.ntic.or.jp/>

エンターテインメント賞  
「SEA TV HOME PAGE」SEA TV

URL <http://seatv.nttlabs.com/seatv/>

ビジネス賞  
「オートアクセルトゥデイ」(有)シーワークス

URL <http://www.autoaxel.com/JAPAN/>

パブリック賞

「神戸インターネットサービス」神戸市  
URL <http://www.kobe-cufs.ac.jp/kobe-city/>  
特別賞

「朝日新聞asahi.com」朝日新聞社

URL <http://www.asahi.com/>

「BIGTOP」ソニーミュージックエンタテインメント  
URL <http://www1.sony.co.jp/InfoPlaza/SME/>



ネットワーク部門最優秀賞のキッズスペース

## 地球救出テーマに子供の目から情報を討議 GIIジュニアサミット'95

世界的な情報ネットワークとして提唱されているGII(Global Information Infrastructure)について、その利用法を子供たちに考えてもらおうとの国際会議「GIIジュニアサミット'95」が10月31日～11月3日の4日間、東京・多摩市で開かれた。主催は同サミット推進会議(議長:山口開生NTT会長)で、世界各国から約40名の子供たちが参加した。今年2月にベルギー・ブラッセルで開かれた「G7情報通信関係閣僚会議」の席上で、利用者の立場からの議論が不足しているとの指摘があったため、将来、実際に利用者となる子供たちの意見を聞くことが重要との考えから開催された。

サミットでは「地球救出作戦」を全体テーマとして、子供たちが5分科会に分かれて議論。5分科会では「争いのない地球を

創ろう」「未来の教育を考えよう」「地球の自然を守ろう」「グローバルコミュニケーションを実現しよう」「インターネット・ホットライブ」をテーマに、事前のインターネットによるオンライン会議で出された意見をもとに討議した。

11月2日の全体会議では多摩市内の2会場と大阪のサテライト会場をオンラインで結び、討議内容が報告された。このうち争

いの問題では、紛争の要因がコミュニケーション不足にあるとして、多くの人インターネットでコミュニケーションする機会を増やし交流を深めることが有効と報告。教育問題ではコンピューターネットワークを使った授業を取り入れることで子供たちが自分のペースで楽しく学ぶことができるようになると

提案した。全体会議の最後には、音楽の分科会が事前にインターネット使って共同で作曲したテーマ音楽を生演奏した。今後、さらにオンライン会議を続け、96年2月をメドに結論をまとめる。

問い合わせ (株)CSK内GIIジュニアサミット'95事務局 TEL03-3340-1861

電子メール [summit-admin@jrsummit.org](mailto:summit-admin@jrsummit.org)

URL <http://www.jrsummit.org/>



40か国から集まった子供たち

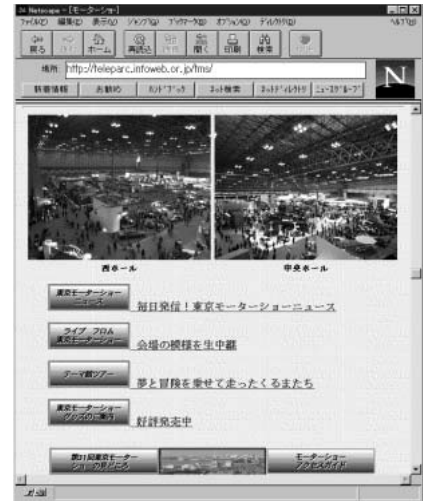
## 大手自動車メーカーがホームページで発信東京モーターショー

10月27日から11月8日まで幕張メッセで開催された第31回東京モーターショーでは、大手自動車メーカーによるインターネットでの情報発信が盛んだった。

ホームページでモーターショー関連の情報を扱ったのは、トヨタ、日産、ホンダ、三菱の4社。さらに主催した自動車工業振興会によるオフィシャルページも作られた。なかでも日産と三菱、そしてオフィシャルページは会場にカメラを設置して定点観測するという熱の入れようだった。とくに日産はブースの一角にスタジオを設け、ガラス越しにスタッフがデータを作成している姿を見られるようにしていた。また、トヨタ、日産では休憩コーナーにパソコンを配置、ネットサーフィンできるようにもしていた。会場外ではパソコンを数台ならべて

「インターネット体験コーナー」が設けられ、オフィシャルのページをモニターに映し出して見せていた。ホームページには出展車の説明や会場への交通など各社とも多彩な情報を掲載している。各社とも、終了後もしばらくは情報を掲載するとのこと。また、オンラインマガジンの「テレパーク」が独自にモーターショー関連の特集を行っている。まさにインターネットブームが起きたモーターショーだった。

定点観測カメラで会場の雰囲気を変えたオフィシャルホームページ



- URL <http://teleparc.infoweb.or.jp/tms/> ( オフィシャル )
- URL <http://www.nissan.co.jp/ms95/index.html> ( 日産自動車 )
- URL [http://www.toppan.co.jp/honda/motor-show/honda\\_mag.html](http://www.toppan.co.jp/honda/motor-show/honda_mag.html) ( 本田技研 )
- URL <http://www.inter-g7.or.jp/mmc-tms/index.html> ( 三菱自動車 )
- URL <http://www.toyota.co.jp/Motorshow/index-j.html> ( トヨタ自動車 )
- URL <http://teleparc.infoweb.or.jp/ja/motor1/teaser.htm> ( テレパーク )

## インターネット関連の新技术をアピールNTTコレクション'95

NTTグループは、10月26日から27日に東京都科学技術館で「NTTコレクション'95」を開催した。NTTコレクションは、NTTおよび関連会社が新技术を紹介するための展示会で、今回はインターネット関連の展示がとくに目立った。注目すべき点は、NTTが先日明らかにした「OCN構想」を、大画面のプロジェクターを使って大々的にアピールしていたこと。具体的な説明は十分にされなかったが、既存の電話網とは違う新しいオープンな通信網を創設するという構想の大枠を紹介していた。

また、ISDN回線網も強くアピールしていた。プレゼンテーションでは未来のさまざまな構想を語る一方、「今日からできるマルチメディア」としてISDN回線のメリットを強調していた。夜間定額制「テレホーダイ」をISDNにも適用する予定がある

ことなども説明、さらに展示会場ではISDNだけで1つのブースを作っていた。

NTTデータ通信によるオンラインショッピングサービス「Virtual Mall」やカード会社のユーカードによる電子決済システム「VPC (仮想プリペイドカード)」の展示も見られた。とくにVPCは、インターネットでのカード決済での利用を主な目的としたものであり、注目される。

変わり種としては、赤外線によって手軽にパソコンからISDNへの通信を可能にす

る「IrTAステーション」。街角で公衆電話感覚で使うことを想定されている。ケーブルを持つ必要がない、次世代のモバイルコンピューティング環境として期待される。

そのほかにも、ビデオオンデマンドのシステムや、インターネットへの接続サービスの紹介、企業通信向けのハードウェアなど、多彩に展示されていた。NTTのインターネットへの意気込みが強く感じられた2日間だった。



プレゼンテーションで紹介されるOCN構想

NTTデータ通信によるショッピングモールサービス



## APEC大阪でインターネット活用 新技術を使って関西情報を発信

11月15日から5日間、18か国の首脳が集まって開催されたAPEC（アジア太平洋経済協力会議）大阪会議。大阪市ではこの会議に伴ってさまざまなイベントが開かれたが、インターネットを使った関西からの情報発信も、かつてなく大規模に繰り広げられた。

WWW上でその中心になったのは、「APEC'95 関西ホームページ（<http://www.apec.or.jp/>）」である。APECのインフォメーションを提供するだけでなく、「サイバー関西」というホームページで音声・映像を駆使した関西情報が提供された。

「最初はAPEC支援のためにインターネットで何かしようということでミーティングを進めたのですが、どうせやるなら今インターネットでできることを何でもやってみようということになりました」と語るのは、今回コンテンツ制作を指揮した電通関西支社メディア開発部の三浦文夫氏。APECのために、関西の大学・企業・行政団体が集まり、APECインターネットプロジェクト推進チームを結成。技術面では大阪大学、奈良先端科学技術大学院大学、機材では松下電器産業、住友電気工業、コンテンツ面では電通関西支社や朝日放送、地元

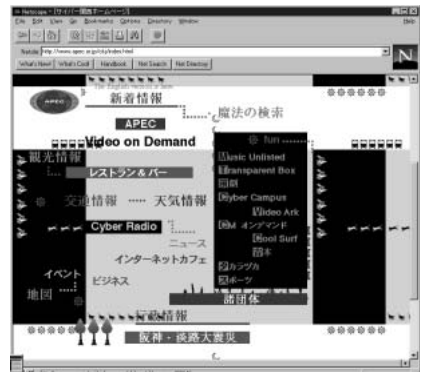
の出版社やFM局などが協力したという。

APECの会場周辺には156Mbpsの高速回線を施設。関係者が滞在する大阪市内のホテル、プレスセンターのある大阪城ホール、松下のショールームがあるツイン21、NEC C&C関西プラザの各拠点からサーバーセンターのある大阪マイドームへとつなぎ、そこをNOCにして外部のインターネットへ接続した。「近未来の高速なインターネット環境をAPEC会場周辺に作り、その環境下でどんなことができるのかを実験しました」と三浦氏。

まず、朝日放送で午後6時から放送されるローカルニュースのビデオ画像を自動的に編集してサーバーへ送り、インターネットへ流す「ニュース・オン・デマンド」を公開した。11月14日には、ATCホールで開催されたアジア太平洋ミュージックフェスティバルの様相をマルチキャスト技術MBoneで生放送。外国人向けのマルチリンガル放送局として10月に開局した「FMこころ」というFM局は、StreamWorksを使って生放送を行った。

さらに、大阪府警の交通情報センターと大阪大学を64Kbpsで結び、道路交通情報をWWW上で提供したほか、千葉・幕張にあるウェザーニュース社の気象情報から天気予報をインターネット経由で受信して流した。

APEC終了後、使われた高速回線設備



吉本興業や宝塚の情報、関西のコマーシャル映像などエンターテインメント情報も多いサイバー関西



渋滞の様子がわかる大阪府警の交通情報は大阪大学を経由して30分おきに更新される。

はすべて撤去される。しかし、「サイバー関西」のページは12月末まで開設される予定。

編集部注）  
より詳しいレポートを次号で予定しています。



大阪ビジネスパーク・ツイン21の1階がラボセンターとなり、ボランティアスタッフがサイバー関西のページを連夜制作。ここにあるパソコンWOODYはMPEGボードを装備しており、156Mbpsの回線から流れてくるニュース映像を専用ビューアーで見ることができた。APEC終了後、このスペースはインターネットカフェとなる。



関西C&Cプラザでは、外国人記者向けにインフォメーションサービスをするほか、約30台のパソコンを置いたインターネットコーナーを設置。ここでは1.5Mbpsの回線が2本引かれており、自由に利用できるようになっていた（一般公開は2日間のみ）。インターネットコーナーの隣では関西の地域資料展も開催。



大阪市内のいろいろな場所にインフォメーションコーナーがあり、グリーンジャケットを着たAPECスタッフが対応する。その一つである新阪急ホテルのロビーには、ダイアルアップの端末が2台置かれ、事務局から派遣されたコンピュータ日本学院専門学校生2人がサポートに当たっていた。

## 新規プロバイダー情報

### プロバイダー増加の勢い止まず 大企業による参入相次ぐ

日本ユニシスによる「U-netSURF」や沖電気による「PTOP」、三菱電機ビジネスシステムによる「M-Bird」、全日空システム企画が運営する「ANANET」、ソニーコミュニケーションネットワークなど、大企業およびその関連会社による参入が増えてきた。1月に開始を予定していたキヤノン販売による「FastNetInternetExchange」も開始を前倒し、すでに営業を開始している。ソニーコミュニケーションネットワークについては、従来関連会社の「ソニーシステムデザイン」が運営していた企業向けのサービス「Synfony」とは別に、個人向けのサービスとして新たにサービスを開始する。

一方、地方でのプロバイダー設立の勢いもまったく衰えていない。とくに最近では、従来プロバイダーが少なかった北関東でプロバイダーが増えてきている。栃木県高根沢町の「栃木インターネット」、栃木県足利市の「両毛インターネット」、埼玉県熊谷市の「KuMaGaYaNet」などだ。北関東在住の人で、「アクセスポイントが近くになり」と悩んでいた人には朗報である。

また、東京23区内でのプロバイダーがコンスタントに増える一方で、東京都下のプロバイダーも増えてきた。95年秋から多摩市や町田市などで新たなプロバイダーがアクセスポイントを開設してきたが、立川市でもスポーツマンの運営する「ピークル」が12月から開始する。

神奈川県でもプロバイダーの増加が目立つ。相模原市ではエイム電子が運営する「NET16さがみ」が開始。「インターネットガーデンシティ」が横浜で開始するほか、

ニートウェアの運営する「ダイナミックビジネスパーク」が横須賀、逗子、葉山など市外局番が「0468」の地域でダイヤルアップのアクセスポイントを開設する。茅ヶ崎市でもシステムプランニングスが「SPW SHONAN インターネット」を開始。また先月号でもお伝えした高速情報通信システムの「HITS インターネット」も、茨城県北部の高萩市にアクセスポイントを開設した。関東全域でアクセスポイントの拡充が進んでいる。

四国や九州でも地元企業によるプロバイダーが増加している。インターネット香川が運営する「虹Net」は香川県の高松市と丸亀市にアクセスポイントを開設。また香川県地域情報化推進協議会も「KAGAWA-NET」を開始する。九州では熊本でMACが「インターサーブ」を開始。また鹿児島では「シナプスインターネットサービス」が開始する。また佐賀では佐賀新聞が96年春からの開始を発表した。

最近の新しい動きとして、特定の業種を主な対象としたサービスも出てきた。医師を対象としたメディカルバンクジャパンが1月から開始する。特定業界に限定したものではないが、インターネットラテラでは、一般人向けにグループ割引や開局記念プレゼントとして飲食店やレジャー施設の割引などユニークな特典を設けているほか、旅行業界で働いている人向けの割引がある。また、大阪の「ilinx」が一般企業向けのサービスのほか、マンションへのインターネット普及を図っている。料金はマンションのオーナーではなく住民が直接支払うというシステム。現在、同社のシステムを利用した「インターネットマンション」はすでに1件あるという。

### InfoWebがニフティサーブとの連携を強化・IDはそのまま接続可能に

既存プロバイダーで大きな動きがあったのが富士通のInfoWeb。開始は未定だが、商用BBSのニフティサーブの会員が現行のIDのままでInfoWebのサービスを使用できるようにすると発表した。また同社は、11月から自社のFENICSパケットネットワークを使ったアクセスポイントの拡充を行う。当初は14.4Kbpsのアクセスポイントが78か所、28.8Kbpsは6か所。そのほかオンラインサインアップで加入の申し込みをするとIDと仮パスワードがその場で発行されるようにオンラインサインアップ機能を強化するなど、個人向けサービスを大幅に強化する方針を打ち出した。

バックボーン回線を強化する動きも目立つ。IIJは11月3日に米国への回線を現在の3Mbpsから合計6Mbpsに増強するほか、12月中には国内の大阪と東京の間の回線を45Mbpsにする予定。また、ASAHIネットは従来のIIJとの接続のほか、新たにインターネットKDDとNSPIXPに1.5Mbpsで接続した。グローバルオンラインもNSPIXPとの回線を512Kbpsから1.5Mbpsに増強した。またAT&T Jenseが運営するSPINインターネットサービスも個人向けにダイヤルアップサービスの提供を始めると発表。詳しい日程は未定だが、96年の上半期中には開始する見込み。

また、従来OS/2ワーブのユーザーを対象としていたIBMインターネット接続サービスは、ウィンドウズ3.1ユーザーも対象としてサービスを提供することになった。日本IBMが、サービスを利用できるプロトコルスタックとして挙げているのは12月からネットマネージ・ジャパンが販売を開始する「Internet Chameleon4.5日本語版」。

(注) 問い合わせは巻末の「料金一覧」をご覧ください。

## ウィンドウズ95とそのファミリー製品いよいよ国内発売スタート!

マイクロソフトはウィンドウズ95とそのファミリー製品を11月23日の午前0時よりいっせいに発売する。

「マイクロソフトウィンドウズ95オペレーティングシステム」の対応機種は、NEC PC-9801およびPC/AT互換(DOS/V)機。価格は29,800円。ウィンドウズ3.1ユーザーのためのアップグレード用は、CD-ROM版13,800円、フロッピーディスク版が16,800円。ウィンドウズ95をさらにパワーアップするための「マイクロソフトプラスフォーウィンドウズ95」は、CD-ROM版フロッピーディスク版ともに6,800円。エクセル、ワード、パワーポイント、スケジュールプラスなどが入った「マイクロソフトオフィスフォーウィンドウズ95」も出荷を開始した。

発売に合わせてウィンドウズ95を使った世界的パソコン通信サービス「MSN、ザ・マイクロソフトネットワーク」の日本語サービスもスタート。これは世界50か国以上からアクセスできる。現在は14400bpsの通信速度に対応しており、将来はISDN回線に対応した64Kbpsのサービスも計画している。サービス内容としては、電子掲示板(BBS)、ファイルのダウンロード、チャット、電子メール(インターネットとも送受信可能)、ニュースグループなど。コンテンツプロバイダーの提供する情報も利用できる。「マイクロソフトプラスフォーウィンドウズ95」のインターネットジャンプスターターキットを使えば、WWWにもMSN経由でアクセスすることができる。より本格的なTCP/IP接続によるサービスは、来春開始を予定。料金は月額10米ドルで月2時間まで利用可能超過分については1時間あたり12米ドル。加入後1か月間は試

用期間として2時間までの利用が無料となっている。

問い合わせ マイクロソフト(株)インフォメーションセンターTEL03-5454-2300

電子メール navi-staff@web.ad.jp



コンビニエンスストア「ローソン」でも予約を受け付けたWin95

## インターネットで「文字放送」インプレス・ラボがシステム開発

インプレスの技術研究部門であるインプレス・ラボでは、インターネットに接続したパソコンの画面にニュースなどの情報を強制的に表示するシステム「Internet TELETEXT」を開発、11月24日よりインプレス・サーバーで実験を開始している。

このプログラムはサーバー用とクライアント用からなる。サーバー用は現在ウィンドウズNTで動作する。クライアントソフトはマッキントッシュ用、ウィンドウズ用があり、ウィンドウズ95でも利用できる。

サーバー側には表示すべきテキストデータベースを用意し、クライアント側から5分ごとにサーバーのテキスト情報を読みにくしくみで、新しい情報があれば、それをクライアントの画面に自動的に表示するというもの。インターネットに接続さえしていれば、ネットスケープなどでWWWを利

用しているときでも、自動的に表示できる。情報はテキストベースなので、高速回線も必要なく、またサーバープログラムもパソコンベースなので、低コストで情報提供サービスを行うことができる。ニュース速報、緊急時のアナウンス、広告など、さまざま

な応用が考えられる。

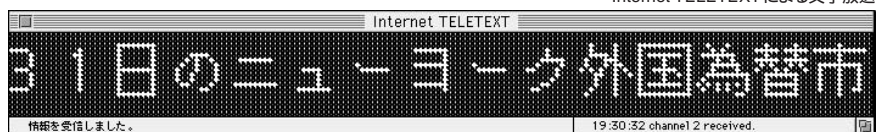
インプレス・ラボでは、まず、インプレスのサーバーでプログラムを配布し、実験をした後、改良を重ね、配布方法などを検討していく。



電子メール teletext@impress.co.jp

URL <http://www.impress.co.jp/teletxt/>

Internet TELETEXTによる文字放送



## ピープルがVRML研究会設立 People Space契機に

「People Space」をピープル・ワールドは、VRMLを日本において研究する協議会「VRML研究会」を96年1月に設立する。これは同社のパソコンネット「People」内で、三菱商事が事業主体となり、米国ワールドズのVRML+技術を用いて3次元仮想社会「People Space」のサービスを提供することになったのを契機に発足させるもの。People Spaceでは、3次元CGを採用したリアルなアメニティ都市を構築し、通信、情報収集、教育、買い物、広告宣伝などの機能を盛り込んでいく。これに関連してVRML研究会では、低速度ネットでの3次元モデルのデータ転送の効率化などを研究する。

問い合わせ (株)ピープル・ワールド内VRML研究会事務局 TEL03-5561-4170  
電子メール 14188056@people.or.jp

## NTTとジャストシステム 「JustNet」を共同で構築へ

日本電信電話（NTT）とジャストシステムは、ジャストシステムが96年から本格運用を開始するマルチメディアネットワークサービス「JustNet」を共同で構築することで合意した。JustNetはインターネットで扱われるマルチメディアをそのまま利用できるネットワークサービスで、両社はまず、全国50か所に予定しているアクセスポイントを共同で構築。また、28800bpsのアナログ高速通信に加え、ISDN（同期64Kbps）を利用したデジタル高速通信ネットワークも構築する。さらに、企画・販売・プロモーション分野でも協力してJustNetの普及を推進し、コンテンツの企画や、地域ベースでのサービス提供者の獲得も協力して行う。

問い合わせ NTTマルチメディアビジネス開発部 TEL03-5359-6263

## オンライン出版の実証実験 日本総合研究所が開始

インターネットでの出版ビジネスを研究する日本総合研究所は、青山タウン情報誌を発行するコムプロジェクトと共同で、「Plug In Aoyama」をオンライン出版した。同研究所では、インターネットをマスコミとミニコミの中間の「ライトメディア」として位置づけ、広告収入でこれを成立させるビジネスを提言しており、この実証実験として出版した。コムプロジェクトの情報誌「AP」のコンテンツのほか、青山界隈の案内マップや、イベント情報なども提供する。また、個人情報発信スペースも有料で設ける。

問い合わせ (株)日本総合研究所 ネットワークインテグレーション事業部

TEL03-3423-3240

電子メール kusunoki@tcom.jri.co.jp

URL <http://Aoyama.Park.or.jp/>

## インターネットで年賀状受注 大分市の印刷会社が開始

大分市の印刷会社、双林社がインターネット上で年賀状の受注活動を開始した。大分県のパソコン通信ネット「ニューコアラ」が運営するWWWサイト上の「一村一品バーチャルショップ」内で始めたもの。注文は、一般、企業、ファミリー、新婚、商店の各ジャンル別のイラスト入り年賀状の中から希望する年賀状を選択し、別途注文用紙に年賀状に印刷する住所、氏名、電話番号などと、ハガキの種類、注文枚数、届け先、連絡先などを書き込んで、注文ボタンをクリックすると、電子メールの形で同社に送られる。料金は墨1色100枚の印刷で3,000円。

問い合わせ (株)双林社 TEL0975-36-4111

URL

<http://heart.coara.or.jp/VSHOP/NewVSHOP/shop/20shop/20shop.html>

## 山陰インターネット協会発足 普及・啓蒙活動に取り組む

山陰インターネット協会が11月16日、島根県松江市くにびきメッセで設立総会を開催し発足した。山陰地区におけるインターネットの健全な発展を基本理念としており、今後、インターネットの普及・啓蒙活動や、インターネットによる地域振興のためのさまざまな活動を行っていく予定。具体的には「商用利用研究会」「倫理問題研究会」「通信技術研究会」の3研究会を設置し、会員相互の情報交換やスキルアップの場として活用していく。また、ホームページを設け、山陰の企業や観光案内などの総合窓口となるようインデックスを充実させる計画。

問い合わせ 山陰インターネット協会事務局

TEL0859-43-0088

URL

<http://www.swacom.bekkoame.or.jp/san-in/>

## 米国のWWWサーバーをレンタル マインドウェアがサービス

ホームページ作成代行のマインドウェアは、米国WWWサーバーの日本ユーザー向けリセールを開始した。米国のWWWサーバーを利用することで、低コストで独自ドメインによるホームページを開設できるほか、通信環境もT3の高速回線を使用できることなどが特徴。初期費用はサーバー・セットアップ料が7万円、画面作成料（30ページまで）が23万円の合計30万円。運用費用はサーバーレンタル料が月35,000円、運用手数料およびメンテナンス料（月20ページまでのデータ追加・変更）が月12万円の合計155,000円。

問い合わせ マインドウェア

TEL048-257-2264

電子メール mindware@ppp.bekkoame.or.jp

URL <http://www.ijnet.or.jp/mindware/rental2.html>

## マルチメディア通信の新会社 大手5社が設立へ

セガ・エンタープライゼス、ソニー、NTT、日本ビクター、ヤマハの5社は11月13日、新しいマルチメディア通信サービスの開発およびその事業性を検討する企画会社を設立することで合意した。新会社の名称は「ジールホームネットサービス株式会社」。将来スタートするマルチメディア通信サービス「GrRホームネット」の提供を目的として、ネットワークの構成を含めた開発仕様の決定および料金体系などの事業化プランの策定を行う。同サービスはISDNによる接続を基本とする予定であり、動画・音声対応の電子メールや、通信カラオケやゲーム、音楽視聴サービス、オンラインショッピングなど多彩な内容が盛り込まれるという。1996年中頃の開始を目指す。

## コインでインターネット利用 エムエーシーが端末無償リース

12月からインターネットに接続を開始する熊本市のプロバイダー、エムエーシーは、インターネットに接続できるコインメーター付きマッキントッシュを「コインマック」の名称で店舗向けに無償リースする。これは、マックとモデムのセットにより、コインを投入することでインターネットを利用できるようにするもの。設置店に対しては、無コストでインターネット端末を設置できるほか、話題性の高いインターネットが利用できるコインマックを設置することで、店舗の集客効果が高められることをメリットとしてアピールしている。また、コインメーター収益の10%が3か月ごとにまとめて設置店に対して支払われる特典もある。

問い合わせ (株)エムエーシー

TEL096-387-5735

## 「筑紫哲也ニュース23」 毎日WWWでニュース提供

TBS「筑紫哲也ニュース23」のホームページが開設された。日本のニュース番組としては初めて毎日ニュース情報を流すもので、オープニングテーマをはじめ、当日のニュースラインアップ、特集の予告、「多事争論」など番組の内容が静止画または動画と音声により提供される。また、視聴者からのメール受け付けや、アンケート調査などのページもある。当日の放送内容がアップされるのは22時以降となるが、帰宅が遅れて放送を見逃しても、番組内容を確認できる。将来的にはWWWにより収集できたデータをもとにした特集を組んだり、海外からの反応も番組に取り込んでいく意向。

問い合わせ TBSテレビTEL03-5571-2861

URL <http://www.tbs.co.jp/news23/>

## コペルニクスがWWW接続 キュリオシティも開始

神奈川県のカイネットが運営するパソコン通信サービス「コペルニクス」が、WWWサーバーへのゲートウェイサービスをスタートする。先にスタートしたピープルやPC-VANと同様、パソコン通信の手順のままに接続するもので、専用ソフトをインストールして、コペルニクス上からクリックするだけで接続できる。

コペルニクスでは、10月よりCD-ROMと連動したパソコン通信番組「CURIO CITY Online」もスタートしている。ピース・オン・デマンド社から創刊されたCD-ROMマガジン「キュリオシティ」と連動し、3次元の仮想都市でショッピングなどを楽しめる。

問い合わせ (株)カイネット コペルニクスお客様センター TEL045-633-5110

## マルチメディアアート大賞 NECがWWW上で作品の募集

NECは、パソコンで制作した優れたマルチメディアアートを表彰するイベント「マルチメディアアート大賞'96」の一環として、国内外からの作品募集をWWWを利用して開始した。同大賞は1988年から開催されているイベントで、パソコンで作成された未発表の作品が対象。従来の郵送による受け付けに加え、今回新たにインターネット上でも募集することにした。作品募集のほか、前回までの受賞作品の紹介や、質問の受け付けも行う。募集期間は96年4月15日までで、発表は96年7月下旬。グランプリ受賞者1名には賞金100万円(または相当のPC-9800シリーズ)とトロフィが授与される。

問い合わせ NECマルチメディアアート大賞事務局 TEL03-5458-1777

URL [http://www.meshnet.or.jp/nec\\_mmart/](http://www.meshnet.or.jp/nec_mmart/)

## インターネットとTV放送統合 米で「InterCast」推進へ

インターネットとテレビ放送を統合した新メディア「InterCast」の推進を目的とする「InterCastインダストリー・グループ」が、米国のパソコン、放送、CATV関連の大手企業により結成された。この新メディアは、パソコンでテレビ番組を観ながら、番組の関連情報にインターネットでWWW同様にアクセスできるようにするもの。96年後半をメドに対応

パソコンやコンテンツなどの関連製品を投入していく計画だ。なお、同グループには、NBC、CNNインタラクティブ、アメリカ・オンライン、ネットスケープ・コミュニケーションズ、パカードベル、インテルなど計13社が参加している。

問い合わせ インテルジャパン(株) TEL0298-47-8511

URL <http://www.intercast.org/>

## cc:mail を WWW で使う 新ソフトをロータスが発表

ロータスはインターネットのWWWブラウザ上でcc:Mailのインターフェイスを利用することができる「cc:Mail World Wide Web」を発表した。既存のポストオフィスに接続しているHTTPサーバー上で動作させることでインターネットをcc:Mailネットワークの一部として利用できる。価格はCD-ROM版パッケージが24,000円、10ユーザー分のライセンス料は30,000円。

問い合わせ ロータス(株)TEL03-5496-3111

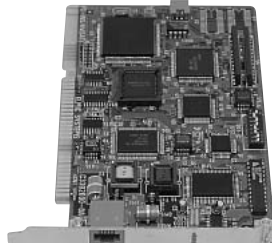


## Win95 対応 ISDN 接続セット ソフトバンクから発売

ISDN回線を使用してインターネットに接続できるウィンドウズ95対応の接続セット「NETSCAPE NAVIGATOR+Surf 2 Surf」が、ソフトバンクとエルミックシステムから発売された。同期式64Kbpsの通信が可能なISDNボードとブラウザのセットで、Infowebなど各プロバイダーの申し込み割引サービスが受けられるクーポンも付属している。価格は59,800円。

問い合わせ (株)エルミックシステム

TEL0120-045690



## NTT-IT がカード型モデム 28800bps で音声機能付

NTTグループのNTTインテリジェントテクノロジーは、28800bpsの高速通信が可能なカード型FAXモデム「ThunderCard AVF288」を発売した。V.34規格に準拠した高速データ通信と、14400bpsのFAX通信が行えるほか、音声メッセージ機能も付加されており、ボイスメールや留守番電話としても使用できることが特徴。エラーコレクションには、強力なMNP-10/MNP-10ECを採用し、信頼性の高い高速通信を実現している。また、マルチメディアメッセージングソフトウェア「Quick-Link Windows版」を標準添付しており、データ通信、FAX通信、音声メッセージングの各機能を1つのソフトで活用できる。価格は39,800円。

問い合わせ NTTインテリジェントテクノロジー

(株)TEL045-651-7511

## ヤマハのISDN 対応 PC カード 住商マシネックス中部から

住商マシネックス中部は、ヤマハが開発したISDN対応のPCカード「InfoShuttle PC30i」を発売した。ISDN回線を通じてインターネットや遠隔地のLANに接続するためのPCカードで、次世代ISDN-PCインターフェイスの標準となるWinISDNをサポートしている。ネットマネージ社の「INTERNET Chameleon」と組み合わせることにより、同期64Kbpsの高速通信ができる。また、ヤマハのルーター「RT100i」と組み合わせることにより、128Kbpsのバブル伝送も可能。このほか、3.3V/5V対応による低消費電力や、ISDNインターフェイス用トランスの内蔵によりケーブルにじやまな突起物がないのも特徴。

問い合わせ 住商マシネックス中部(株)情報通信チーム TEL052-963-2453

電子メール oku-smc@po.ijnet.or.jp

## 「INTERNET corega」 アライドテレシスが発売

LANビジネスのアライドテレシスは、インターネット接続ソフト「INTERNET corega」を発売した。初心者ターゲットとしており、簡単、シンプル、低価格が特徴。ウィンドウズ3.1対応で、メール、TELNET、FTPの各機能のほか、WWWブラウザとして「ネッツスケープナビゲーター」を標準装備している。価格は9,700円。また、ユーザーサービスの一環としてホームページも開設した。内容は、最新製品情報、同社主催の催しや出展するイベント情報、価格表や写真を含む製品情報、会社案内などで、このほかLANアダプターの添付ドライバーソフトを無償でダウンロードできるFTPサイトも併設した。

問い合わせ アライドテレシス(株)

TEL03-5488-6785

URL <http://www.allied-teleasis.co.jp/>

## Chameleonの新バージョン ネットマネージから発売

ネットマネージジャパンは、ウィンドウズ用TCP/IPアプリケーション集「Chameleon」シリーズの新バージョン4.5日本語版をリリース、新価格で発売した。新価格は「Chameleon」が59,800円、「同NFS」が79,800円。アプリケーションが40種以上に増加し、インターネットアクセス機能を強化したほか、デスクトップ会議ツールなども追加された。また、ダイヤルアップ接続専用の「Internet Chameleon」(19,800円)では、接続設定を簡単にする「Automatic Internet」機能を追加したほか、WinISDNをサポートしてBチャンネルによる128Kbps送信がワンタッチ操作でできるようになった。

問い合わせ ネットマネージジャパン(株)

TEL03-3221-8400

電子メール info@netmanage.co.jp

# News on the NetNews

## 銀行に関する話題で盛り上がった

**fj.life.money / fj.soc.economy**

ATMの稼働時間の延長や大和銀行の事件など、最近は金融業界の話題が多い。お金にまつわるさまざまな話題を話し合うfj.life.moneyでも、金融業界についての話で盛り上がった。「なぜ夜になると手数料を払わなければならないのか」「銀行の規模はそれぞれ違うのに、なぜ手数料は一律なのか」など素朴な疑問が多数投稿された。購読者の中に本物の銀行マンもいて、直接それらの問いに答えたり議論したりすることも見られた。また、大和銀行の事件から日本の金融事情の特殊性を話し合う場面もあった。金融に関して役立つ知識が得られるグループである。

## 著作権に関する議論と学歴論争

**fj.misc**

他に投稿するグループがない問題について話し合うグループ。「他人からもらった中傷のメールを、その内容がどれだけひどい内容のものであるかを分かってもらうためにネットニュース上で公開して良いか」「fjでは所属している大学や会社名を名前とともに名乗る人が多いが、学歴をひけらかされているようで嫌だ」というような、fjの文化についての議論が活発だった。とくにメール著作権の問題については議論が進むにつれて、ネットニュースに投稿された記事の著作権にも話が及んだ。商用プロバイダーからダイヤルアップでインターネットに接続する人が増えてきたので最近では初心者による投稿が増えている。それにつれて、fjニュースグループの文化についての議論が増えているようだ。

## 競馬予想

**fj.rec.sports.keiba**

競馬については菊花賞やエリザベス女王杯

など、大きなレースがあったので、投稿数も増えたようだ。どの馬が勝つか予想を出し合って話し合う場面もよく見られた。競馬好きの人は馬券を買う前の参考にするといいだろう。

## シーズン直前！スキー情報が満載

**fj.rec.sports.ski**

スキーに関する情報交換をするニュースグループだが、冬が近づくにつれ活発になってきたようだ。スキー場のオープン情報や交通情報、「スタッドレスタイヤを買おうと思うのだがどれが良いか」など役立つ情報が多い。スキーのテレビ番組についての感想など、読んで楽しめる記事もある。また、スキー道具の売買情報も投稿されている。本格的にシーズンが始まれば各地のスキー場の積雪状況なども交換されるだろう。スキー好きには見逃せないグループである。

## 大学での単位取得の噂話

**fj.education**

教育に関する話題を話し合うニュースグループ。「中学生の服装自由化について」「アメリカと日本の大学の制度の違い」というようなまじめな話題も多いが、大学の裏話などもたまにあり、なかなか楽しめる。11月には「大学の単位取得に関する噂を聞かせてください」という投稿があったが、反響が多く、盛り上がった。

## 猫好きが多い？ペットのニュースグループ

**fj.rec.pet**

ペットに関するさまざまな話をするニュースグループ。ペットの飼い方や病気になった場合の対処の仕方など役立つ情報交換が満載されている。また、ペット自慢の記事もある。最近では「変な猫の好み」というサブジェクトで、飼っている猫の変な性癖の話が投稿されると「うちの猫はこうだ」という記事が多数集まるという場面も見られた。もちろん猫以外のペット情報を持っている人もいたので、周りに同じペットを飼っている人がいなくて困っている人などは、質問を投げかけてみるとよいだろう。思わぬペット仲間の輪が広がるかもしれない。

## 血液型性格判断は科学的か

**fj.sci.misc**

カテゴリーに該当するものがない科学の話題について話し合うニュースグループ。11月前半に盛り上がった話題は「血液型と性格は関係があるのか」「電子レンジにまつわる体験談」など。血液型の話では議論が進むにつれて「疑似科学のニュースグループがほしい」というような声も出た。電子レンジの話題については「発泡スチロールが溶けて温めようとした食べ物とくっついてしまったことがある」など、実体験に基づく投稿が多く、高度な科学議論などはあまり見られない。科学知識にあまり自信がない人も気軽に参加できる雰囲気なので、一度覗いてみてはいかがだろうか。

## 新しく作られたニュースグループ

fj.news.lists, fj.news.group, fj.archives.answersに10月13日に投稿された「Active News-groups Lists of fj (fj委員会作)」によると10月から11月前半にかけて新設されたニュースグループは以下のとおり。

**fj.rec.drink.liquor**

お酒を楽しむことに関する話題。

## キャプチャー機能付きビデオカメラ

あの「キューカム」のウィンドウズ版がついに登場

クイックカム  
**Quick Cam for Windows**

動作環境：ウィンドウズ3.1、ウィンドウズ95

発売元/問い合わせ：今回は直輸入版を使用、

正規日本販売代理の誠和システムズから近日発売予定

TEL03-5378-0445（誠和システムズ）

価格：23,800円（予備）

今までウィンドウズマシンで動画像を取り込むにはビデオキャプチャーボード等が必要であり、ノートブック型では拡張スロットもないため、扱うことが難しかった。しかし、ついにマッキントッシュで先行して発売されていた人気のモノクロビデオカメラがウィンドウズに対応した。

パラレルポート接続のビデオカメラなどと言ってもこのビデオカメラは、低価格で特別なハードウェアを必要としないのが特徴だ。パラレルポート（D-sub25ピンコネクター）とキーボードポート（DINまたはMini-DINコネクター）に装着して使い、パラレルインターフェイスでデータを転送、そしてキーボードポートから駆動電源を取っている。これなら、ノートブック型ウィンドウズマシンでも動画を取り込むことができる。

パラレルポートで接続されるため、割り込みレベルのような面倒な設定もなく、インストーラーでソフトを組み込むだけですぐに利用できる。初心者でもインストールできる。もちろんウィンドウズ3.1、ウィンドウズ95の両方に対応している。

ビデオ・フォー・ウィンドウズ対応のキャプチャリングソフト

2つのアプリケーション「QuickPict」  
「QuickMovie」が付属し、動画、静止

画の取り込みが可能になっている。

QuickPictは静止画をキャプチャリングするソフトで、320×240ドットの64階調のモノクロ画像がBMP形式、TIFF形式で取り込める。

QuickMovieは160×120の16または64階調のモノクロの動画を最高24フレーム/秒の速度でビデオ・フォー・ウィンドウズのAVI形式で保存できる。キャプチャリングはCPUの性能に依存するため64階調やフレーム数を多くするにはペンティアムが必要だ。16階調でフレーム数を少なくすれば、386、486でも問題はない。典型的な486マシンで160×120ドットで15フレーム/秒の記録ができ、よりフレーム数を上げるなら画面サイズを小さくし、画面サイズを広げるならフレーム数を落とさなければならない。画面サイズ、階調、フレーム数の設定は個別に設定でき、ファイルサイズをコンパクトにしたいときなどに調整することができる。

CU-SeeMeにも十分対応する仕様カメラは固定焦点で8インチまで接写できるが、細かいものを写すには向いていない。しかし、画角が65度の広角レンズ（35mmカメラの38mmレンズに相当）が使われており、モニターの上に設置して上半身を写し込むには適切だ。明るさはf1.9。補助光がない室内でモニターの前的人物を写すことができるとなれば、本誌でおなじみのテレビ会議ソフト「CU-



本体の外観はマック版と変わらない

SeeMe」には最適である（多くのマッキントッシュユーザーはQuickCamで参加している）。

WhitePine社（<http://www.wpine.com/cu-seeme.html>）の評価版CU-SeeMe 1.0A1.1ではウィンドウズ95でQuickCamが使えるようになっているので、さっそく試してみるとなかなか使える。QuickCamならシリアルポートやPCMCIAスロットを使わないので、電池駆動のTAやカード型TAと併用すれば、ISDN公衆電話からでもCU-SeeMeで動画が送れることになる。アイデア次第でQuickCamはいろいろと使える便利なビデオカメラだ。（菊地宏明）



図1 添付ソフトのQuickMovie

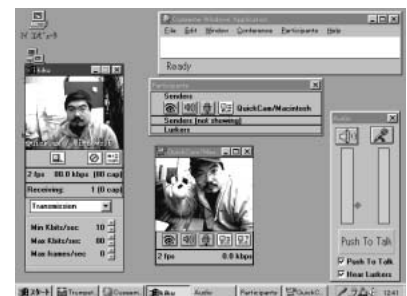


図2 CU-SeeMeも簡単に楽しめる

## ニフティサーブ専用通信ソフト

## ニフティサーブを使いやすくする ニフティマネージャー NIFTY Manager

動作環境：ウィンドウズ3.1

価格：無料

提供元：ニフティ

入手方法：GO NIMでNIFTY Manager サポートコーナーに入り、ダウンロードコーナーからダウンロードする。

ニフティマネージャーは、ウィンドウズ上でニフティサーブを視覚的に操作できるソフトである。米国コンピュサーブの利用者にはおなじみのコンピュサーブインフォメーションマネージャーのニフティサーブ版と言えるもので、アイコンとプルダウンメニューによって、わかりやすい操作を実現する。

ニフティサーブマネージャーによるサービスは9月27日から開始されている。ファイルはニフティサーブの専用コーナー(NIM)からダウンロードできる。また、専用のサポート会議室も設けられており、ユーザーからの質問や要望事項、不具合やトラブル対処などのデータが掲載されている。

ニフティサーブの一部がGUIに対応

ニフティマネージャーは「わかりにくい文字ベースのインターフェイスを向上」させる目的で作られたもので、ニフティサーブが根本的にGUI化したというものではない。つまり、もともとコマンドベースで作られているホストに対して、GUI化できる部分を極力GUIのカバーで被ったということになる。また、CBシミュレーターやRT(リアルタイム会議)などのチャット機能など、一部のメニューはコマンドプロンプトモードとなり、ウィンドウ内のプロンプトに対してコマンドを入力する必要がある。

ニフティマネージャーを利用すると、基本操作についてはコマンド入力やメニュー選択が不要となり、ウィンドウ上でメールボックスを開いたり、フォーラムに参加して発言したりすることができるなど、大幅な操作性の向上を見ることができる。またセットアップも簡単となっており、モデム設定や接続先の設定なども一覧リストから選択するだけで完了する。

電子メールや会議室の利用も簡単に機能としては、データライブラリからの複数ファイルの一括ダウンロード、JPEG画像やNAPLPS画像のオンライン表示、フォーラムの電子会議室でのペアレントリンク状態の視覚化、ダウンロード中でも会議室のメッセージが読めるなど、コマンドベースでは難しかった高度な機能を備え、ニフティサーブを使いこなしている人にも魅力がある。また、これらの機能はマルチウィンドウ上で並行操作ができるようになっている。このようなオペレーションは、パソコン通信を始めばかりの人には理解しやすいだろう。

### インターネットとの連動

ニフティサーブのインターネット接続サービスがTELNETやFTPなどのコマンドベースのものしか提供されていないため、インターネット接続のメニューを選んだときにはコマンドプロンプトモード中心となる。しかし、96年春にWWWサー

バーへの接続サービスが予定されており、近いうちに統合環境が利用できるようになるかもしれない。

なお、操作性とスピードについては、通常のマシンで使用するかぎり、とくに遅いと感じられることはない。ただし、今後オンラインショッピングの商品画像表示など、GUIベースのサービスが増えてくることを考えれば、14400bps以上の通信速度で利用することが望ましい。

(池田冬彦 ikeda@twics.com)



図1 ニフティマネージャーで見たトップメニュー。よく使うサービスはGOコマンドリストに登録しておくこと便利。



図2 送信メールをオフラインで作成。送信箱に入れておくと、次の接続時に自動でアップロードしてくれる。

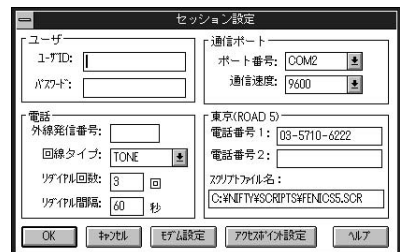


図3 セッション設定ダイアログボックス。主要な設定はここである。

## パソコン通信用 WWW ブラウザー

PC-VANからWWWを利用できる

## PC-VAN Mosaic Ver 1.0

動作環境：ウィンドウズ3.1、メモリ14Mバイト以上、通信速度14400bps以上推奨

価格：ダウンロード時に1000円課金

入手方法：J WWWGWから「WWWゲートウェイサービスコーナー」からダウンロード

PC-VANナビゲーターは、J PCNAVIからダウンロード（無料）

PC-VAN モザイクは、PC-VANのビジュアル通信ソフトPC-VANナビゲーターと組み合わせてインターネットに接続し、WWWビューアーとして機能するソフトウェアである。このモザイクはイリノイ大学NCSAで開発されたモザイクが原型であり、これを強化したスパイグラス社のエンハンスド・モザイク2.0の日本語版である。ただし、これはPC-VANナビゲーターと連動して使用することが前提である。

## TCP/IP 設定不要の手軽さ

PC-VANナビゲーターでモザイクを利用することのメリットは、標準でTCP/IPをサポートしていないウィンドウズ3.1上で簡単にWWWサーバーにアクセスできる点にある。利用はPC-VANの会員であることが前提だが、パソコン通信から簡単にインターネットの世界に入ることができるので、サービスプロバイダーとの契約の手間やTCP/IPの設定など、まだまだ敷居の高いWWWサーバーの世界を手軽に楽しむことができる。また、PC-VANの基本料金を使用できること、PC-VANのアクセスポイントが利用できることは、PC-VANユーザーにとってっとり早くWWWサーバーにアクセスするための有力な手段といえる。ソフトはPC-VAN上で公開されており、ダウンロードする場合は1000円の追加料金が課金される（PC-VANナビゲーターは無料でダウンロードできる）。

## PC-VAN ナビから自動起動

PC-VAN モザイクはWin32sシステムでの使用が前提となる。これはインストーラーが自動的にWin32sモジュールをインストールするので、ユーザーはインストーラーの指示に従って作業を進めるだけで、自動的に導入が完了する。リブート後は、PC-VANナビゲーターからゲートウェイメニューに入るだけで、自動的にPC-VANモザイクが起動する（図1）。

機能はオリジナルのエンハンスドモザイクとほぼ同様で、WWWサーバーにアクセスするのに必要かつ十分な機能を備えている。ホットリストの登録やサーバーの移動などの標準的な機能のほかにセキュリティ対策もとられており、実用上とくに大きな問題はない。また、GIFやJPEG、BMPのファイルや、AU形式のサウンドファイルは、ヘルパーアプリケーションなし（もしくは付属するMMGVというプログラムを併用）で表示・再生できる。

PC-VANのインターネットサービス  
PC-VANモザイクによってPC-VANの従来のサービスであったインターネットメール、FTP、NetNews、TELNETなどと組み合わせて、一通りインターネットの機能をPC-VAN上で利用できるようになったと言えるだろう。だが、手軽な分だけ制約もある。PC-VANのインターネットサービスではTCP/IPをサポートして

いないので、この環境で利用するソフトは利用できない。つまりArchieサーバーや、好みのメールソフトやブラウザを選ぶことはできない。

しかし、いずれにせよ、PC-VANモザイクはピープルのワールドトークと同様、パソコン通信の利用者が手軽にWWWを楽しむための早道であることはまちがいないだろう。

(池田冬彦 ikeda@twics.com)

図1 PC-VANモザイクの初期立ち上げ画面。このファイルはインストール時に添付されている



図2 表示の基本設定。オンラインイメージの自動表示の可否や、リンクの色などを選べる。



## 「インターネットエキスポ'96」通信 No.3

開催期間:1996年1月1日~1996年12月31日まで



開催まであと1か月に迫った「インターネットエキスポ'96」。  
 今月はパブリックアクセスポイントを予定している場所を紹介しよう。

インターネットエキスポで用意される  
パブリックアクセスポイントはココだ!

本誌ですでお知らせしたとおり、インターネットエキスポでは、まだインターネットを使ったことのない方をはじめ、1人でも多くの人にインターネットの可能性と楽しさを体験してもらうために、日本全国に「パブリックアクセスポイント」を設置する。パブリックアクセスポイントとは、エキスポに参加している企業のショールームやイベント会場、観光地などに、エキスポの用意する高速バックボーンに接続されたコンピュータを設置し、だれもがエキスポで行われている「パビリオン」や「実験」を見ることができるものだ。すでに自宅からダイヤルアップ接続でインターネットを使っている人はエキスポに「行く」ことはできるが、自宅の環境では動画の実験などは楽しめないかもしれない。そんな人もパブリックアクセスポイントに出かけていけば、最先端の環境でインターネットエキスポを見ることができるわけだ。

これ以外にも、最近流行のインターネットカフェなどでも体験できる予定なので、来年はぜひあちらこちらのアクセスポイントに出かけてみよう!

「インターネットエキスポ'96」は  
こういうイベントだ!

インターネットエキスポについては、本誌では何度か取り上げてきたが、実体がかみきれないという声をよく聞く。そこで、あらためてインターネットエキスポの概要に

ついて紹介しておこう。

最先端のネットワーク環境と、  
それを使いこなしたコンテンツ  
や企画を体験できる!

インターネットエキスポは、いままでの博覧会や展示会のように幕張メッセや晴海の見本市会場でやるようなものではない。1年間かけてインターネット上でさまざまなサーバーが立ち上がったり、インターネットを使った実験やイベントが企画されているのだ。その会場となるネットワークは現在のインターネットとは別に45Mbpsの超高速のネットワークで各地を結び、このネットワークを使ってさまざまなイベントが行われるのだ。

あなたも会場を  
訪れることができる!

もちろん、現在の商用インターネットサービスプロバイダーともエキスポのネットワークは接続される。つまり45Mbpsの回線につながっているコンピュータよりは快適ではないが、自宅や勤務先、学校から気軽に見ることができるというわけだ。高速なネットワーク環境を体験したければ、日本の各地に用意される予定の「パブリックアクセスポイント」に出かけていけば、存分に楽しむことができる。

パブリックアクセスポイントは  
ここにできるぞ!

このリストは11月初め現在で検討している場所です。今後、変更されることも予想されます。変更は順次このページでも掲載していきます(カッコ内の数字はバックボーンへの接続速度)。

## 1月開始予定

倉敷芸術科学大学(6M)  
岡山県倉敷市連島町西の浦2640  
ラフォーレ原宿(45M)  
東京都渋谷区神宮前1-11-6 B1  
大阪ダイヤモンド地下街(6M)  
大阪府大阪市北区梅田1丁目  
銀座ソニービル(45M)  
東京都中央区銀座5-3-1

## 3月までに順次開通予定

心齋橋ソニータワー(6M)  
大阪府大阪市中央区心齋橋筋1-1-10  
堂島ギャラリ(DDD)(6M)  
大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクセスビル1F  
NECショールーム(東京)(6M)  
東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビルB1F  
NECショールーム(大阪)(6M)  
大阪府大阪市中央区城見1-4-24  
銀座グラフィックギャラリ(6M)  
東京都中央区銀座7-7-2 DNP 銀座ビル1F  
富士通プラザ秋葉原(東京)(6M)  
東京都千代田区外神田3-14-10 秋葉原HFビル1F

## 京浜急行

品川駅 東京都港区高輪3-26-26  
横浜駅 神奈川県横浜市西区高島2-16-1  
上大岡駅 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-9-23  
横須賀中央駅 神奈川県横須賀市若松町2-25

NTTショールーム(12カ所)\*場所回線速度は予定  
新宿本社ビル(6M)

東京都新宿区西新宿3-19-2 新宿本社1F  
霞ヶ関コミュニケーションセンタ(45M/6M)  
東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル30F

トーキングポート横浜(6M)  
神奈川県横浜市西区高島2-18-1 新都市ビル9F

マルチメディアパークNAGANO(6M)  
長野県長野市新田町1137-5 NTT信越ビル1F

プロボ名古屋(6M)  
愛知県名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービルB1F

コミュニケーションプラザアトリオプラザホール(6M)  
石川県金沢市香林坊1-1-1

日本橋支店インターネット体験コーナー(6M)  
大阪府大阪市浪速区日本橋5-8-21

NTTメディア館(6M)  
広島県広島市基町6-78 クレド6F

NTT四国マルチメディアプラザ(6M)  
松山市一番町4-3 四国INSプラザ1F

NTTショールームi(札幌)(6M)  
北海道札幌市中央区大通西2-9 NTT大通2丁目ビル2F

PATIO-Q(6M)  
福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTTデータ博多駅前ビル

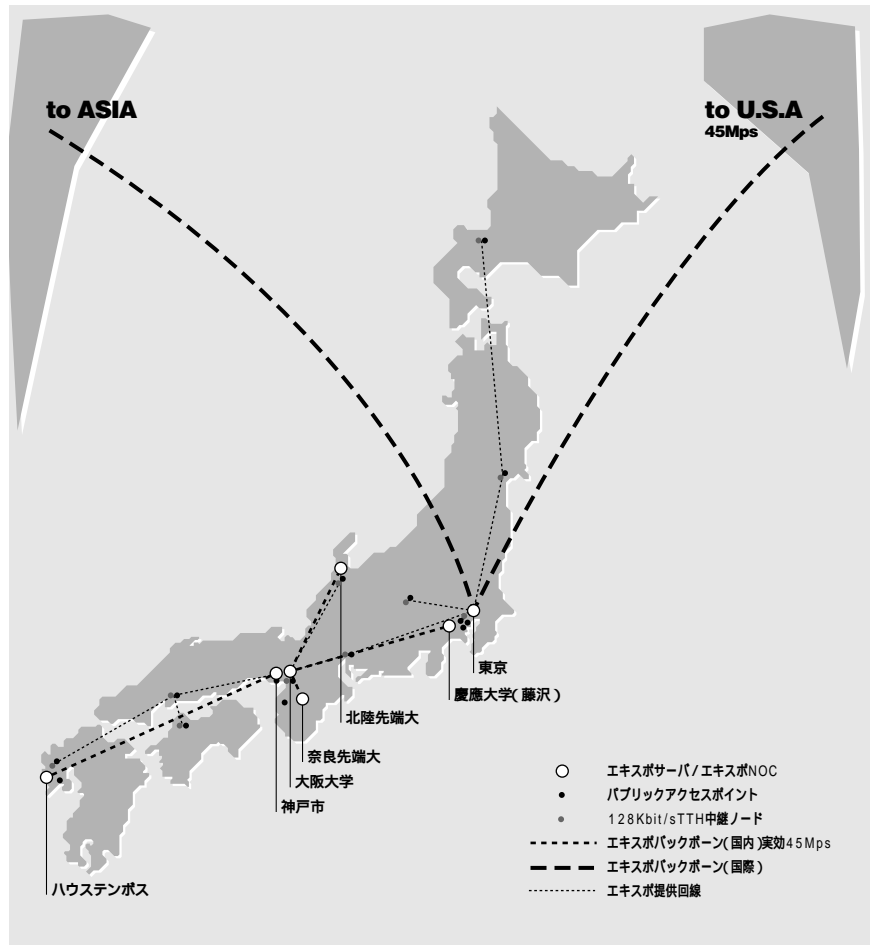
仙台トークオアシス(6M)  
宮城県仙台市青葉区中央4-4-19

ノーベル賞授賞式や  
カンヌ映画祭も  
見られるかもしれない!

では、現在どんなイベントが企画されているのだろうか？ 出展する企業の申し込みは10月24日から開始されたので、各企業のおもしろい企画も続々登場することだろう。実行委員会で検討されているイベントとしては、ノーベル賞の授賞式やカンヌ映画祭の中継がある。もちろん、動画が流れるだけではテレビと同じなので、受賞者の業績などを多次元で見ることができるようなものになるといわれている。これ以外にも、コンサートや映画の放映、それに96年の1月1日の朝はオープニングイベントなど、楽しい企画が続々と出てくると予想される。

入場料はもちろん無料

利用者から見るとインターネットエキスポのパビリオンはWWWサーバーのように見える。このサーバーにアクセスするのに料金はかからない。つまり入場料は無料というわけだ。



## 日本組織委員会発足！【日本のインターネットワールドエキスポが正式にスタート】

「インターネットワールドエキスポ96」の日本組織委員会発足式と、その記者発表会が10月24日に行われた。日本組織委員会会長に渡辺文夫氏（東京海上火災保険株式会社相談役）、副会長に宮津純一郎氏（日本電信電話株式会社代表取締役副社長）、野坂邦史氏（国際電信電話株式会社代表取締役副社長）、石田晴久氏（日本インターネット協会会長）の各氏が就任した。

記者発表会場では、実行委員長の村井純氏（慶応義塾大学環境情報学部助教授）から、エキスポの概要と現在の進捗状況について、またこのエキスポの発案者でもあるカール・マラムッド氏（米国インターネット・マルチキャスト・サービス社長）から米国および参加各国の状況についての説明があった。

これを受け、国内ではエキスポへの出展募集も開始されることになる。オフィシャルオーガナイザーとしての出展料は1社あたり2000万円、企業パビリオンの出展料は1社1500万円、その他スモールビジネスパビリオンや公共パビリオンなどの出展料金は現在検討中とのことである。10月24日現在でオフィシャルオーガナイザーとしての参加を表明している企業は、CSK、東芝、ソニー、ソフトバンク、東京インターネット、日本アイ・ビー・エム、日本サン・マイクロシステムズ、日本シスコシステムズ、日本電信電話、日本電気、富士通の各社。

開催期間中の「来場者」は全世界で5000万人、国内でも500万人を見込んでいる。

「インターネットワールドエキスポ」に関してのお問い合わせは、つぎのところまで。

問い合わせ先

インターネット1996ワールドエキスポポジション  
日本組織委員会 事務局  
財団法人テレコム高度利用推進センター  
東京都港区麻布台1-11-10日総22ビル  
TEL : 03-3583-2637  
FAX : 03-3583-2638  
URL : <http://www.expo96.ad.jp/>





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)